

## ソニー生命カップ第44回全国レディース大会富山県大会

### 優勝

池田有美（わくわくテニス）

「成長と感謝」

私たちは今年4月に組み始めたペアですが、練習時間が合わないため、お互いのテニスを知りペアとしてできることを確認し、信じることを大切にしてきました。

この大会もチャレンジャーとしてひと試合1ポイント話し合い励まし合い、失敗しても修正し、その失敗も無駄にしない気持ちでコートに立ちました。

今回優勝できましたが、これを一つの通過点として2人でもっと成長していきたいです。

最後にソニー生命様、支えてくださった皆様、戦い合った仲間、家族、ペアに感謝したいと思います。

村田あゆみ（わくわくテニス）

【 合い言葉は「チャレンジャー」 】

春からペアを組んだ私たちの合い言葉は「チャレンジャー」。お互いの仕事や家族の事で、ペア練習は数えるほど。ならば、しっかり開き直ろうというわけです。

もう一つは、「役割分担」。ディサイディングポイントは、ミスのない池田さんに全てお願いしました。プレッシャーも全ておまかせ！（ごめんなさい。そしてありがとう、ユミちゃん！）作戦は大当たり。思いがけない優勝でした。

全国大会では、一番手で見える景色をしっかり心に刻みたいと思います。

二人で、笑顔のプレーでチャレンジャーになります。

### 2位

宮腰いずみ（センチア）

「大会を振り返って」

1日目、強風の中でも足を動かしながら2人で1ポイントのテニスできたことは、今大会最大の収穫だったように思います。

決勝戦、1セット目の良い流れを自分達のミスにより断ち切ってしまったこと、そのまま流れを引き戻すことが出来なかったことが悔やまれます。

11月の本大会までに反省点を修正し、3度目の正直！全レ勝利に向けて頑張りたいと思います。

大会運営の皆様ありがとうございました。

## 村中雅子（センチア）

「三回目の挑戦！」

宮腰さんと組んで3回目のソニー生命カップ。1、2回目は代表になりましたが今回の富山県大会は今まで以上の難関予選でした。

ドローが発表された時から緊張して十分な体調管理が出来ないまま当日となりましたが、いつも通りの宮腰さんが私を引っ張りアドバイスしてくれました。心強い頼れるパートナーです。お陰で決勝戦に進出することが出来ました、代表確定したときは少しホッと嬉しかったです。

一緒に練習してくれる皆様、コーチ、本当にありがとうございます。全国大会までにもう少し力を付けて一戦必勝で頑張ります。

## 3位

## 石崎美知恵（team wish）

「久しぶりのペアと全国へ」

昨年に続き私にとって2度目の全国大会。今年春から5年ぶりに堀井愛ちゃんとペアを組み全国大会を目標にしてきました。ケガでお休みしていた愛ちゃんを無理矢理ひっぱり出しました！一緒に組んで試合に出るのは本当に久しぶりでしたが、懐かしい感覚が蘇りました。相変わらずのパワフルテニスに元気をもらっています。

全国大会では2人で話し合い、2人でポイントを取れるようなダブルスをして結果を出したいです。

## 堀井愛（すいよん）

今年の初め、ペアの石崎さんより2022年のソニー生命カップ出場のお誘いがありました。私は2017年以降仕事の都合と、2020年に股関節を痛めてから大きな大会にはほとんど出場しておりませんでした。十分な状態での参加ができないがそれでも良いか？との問いに、構わないと言ってくれたペア。せっかく誘っていただいた好意に応えたいという気持ちで参加を決めました。

が、母の入院等で思っていたより練習ができない日々が続き、女子連の前半の試合では本当にボロボロで満足な試合ができず、ペアには本当に迷惑をかけました。体は鈍っていて1試合するのがやっとの状態で、こんな状態でソニーでの日程がこなせるのか全く自信がありませんでした。しかし、周りの友人のサポートとアドバイスのおかげでなんとか試合をこなせるだけの体力とスタミナが戻って来たような気がしました。

とは言え、公式試合から5年も遠ざかっていた私は全くもって準備が足りない状態でした。「攣り止め」「サプリ」「栄養剤」「疲れにくいスポーツドリンク」「粉」もう、ありとあらゆる物を用意して体力・気力、スタミナ切れでペアに迷惑をかけない様試合に臨みました。

結果、ソニー生命カップ富山県大会3位という成績を頂き、全国大会に出場することになりました。こんな状態でも文句も言わず組んでくれたペア。当日までさぞかし不安だったと思います。失敗しても、明るく声かけしてくれ、本当に感謝しかありません。二人で全国大会を楽しんで挑めるよう頑張っていきたいと思います。